

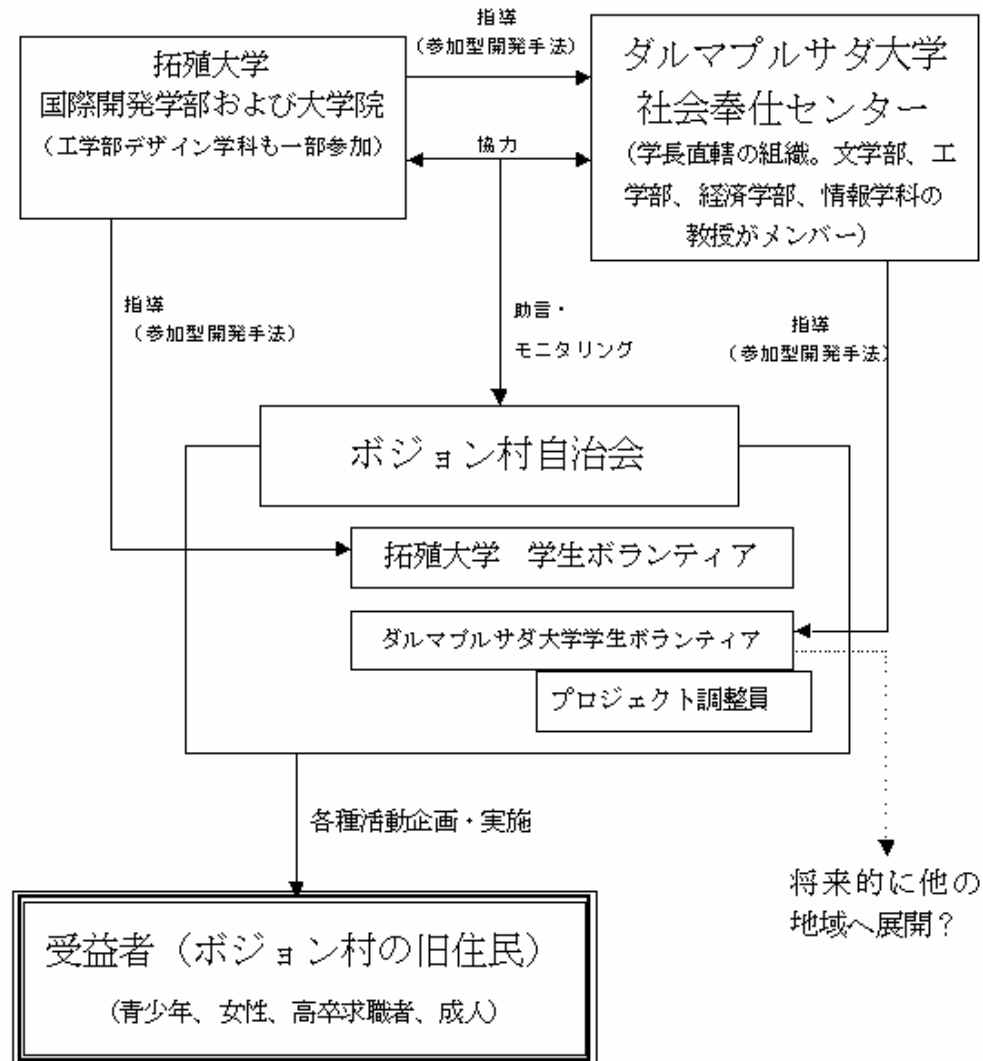
拓殖大学と姉妹校ダルマプルサダ大学との
パートナーシップによる

都市貧困対策リーダー育成事業

(都市貧困対策モデルプロジェクト
実施を通じて)

JICA草の根技術協力予算による

拓殖大学と姉妹校ダルマプルサダ大学とのパートナーシップによる
都市貧困対策リーダー育成事業
(都市貧困対策モデルプロジェクト実施を通じて)
実施体制概念図



具体的活動

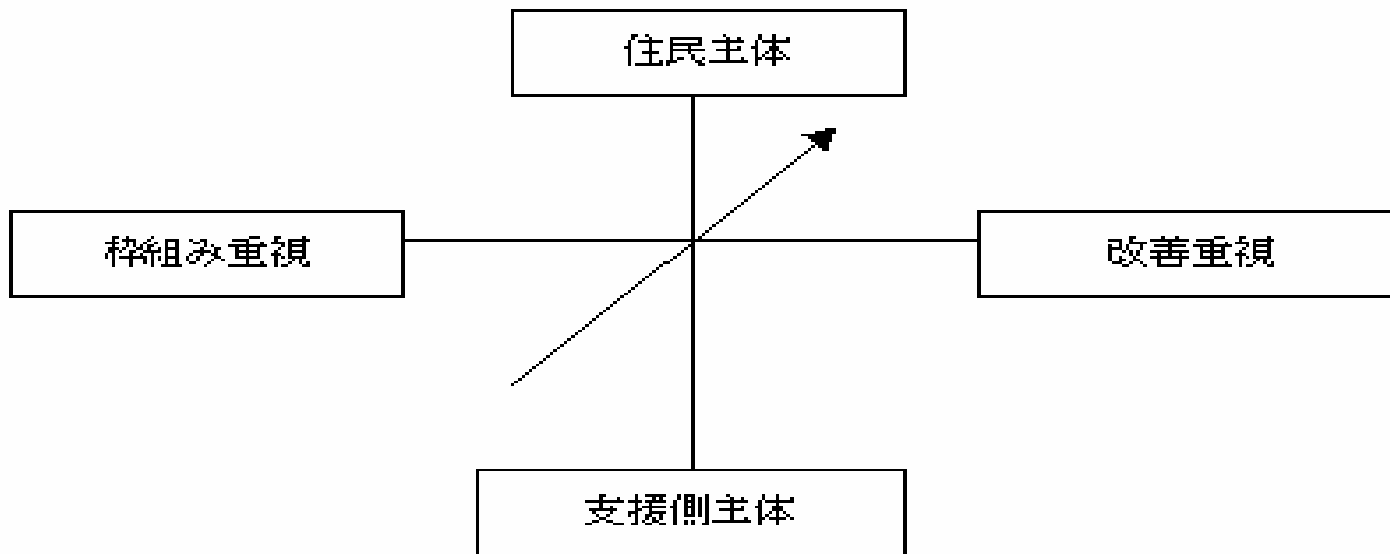
- 社会開発部分
 - ーリーダー育成(自治会の強化)
 - ー日本語
 - ー初歩コンピュータ(ワープロ、ネット)
 - ー識字
 - ースポーツ・レクリエーションと薬物追放
- 収入創出部分
 - ー家具デザイン改善
 - ー家具販売管理改善

プロジェクトの目的および上位 目標

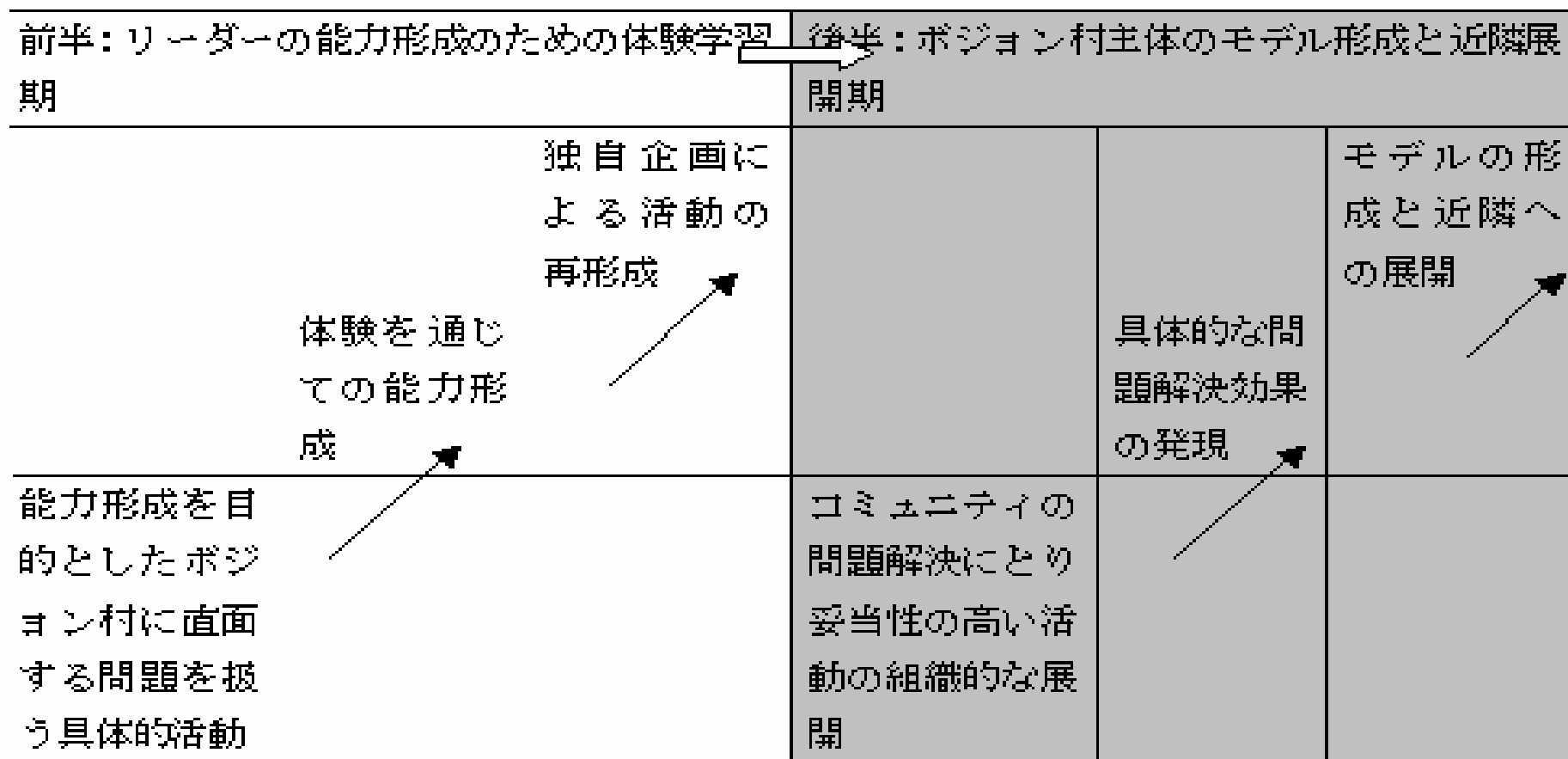
- 目的
- 活動を通じてボジヨン村にリーダーを育成
- 問題解決能力の強化
- 上位目標
- 社会開発および収入向上
- 拓殖大学およびダルマプルサダ大学から参加した人の中から将来の都市貧困対策プロジェクトのリーダーを育成
- 面的な広域展開および国境を越えての都市貧困対策のリーダー交流

拓殖大学アプローチ

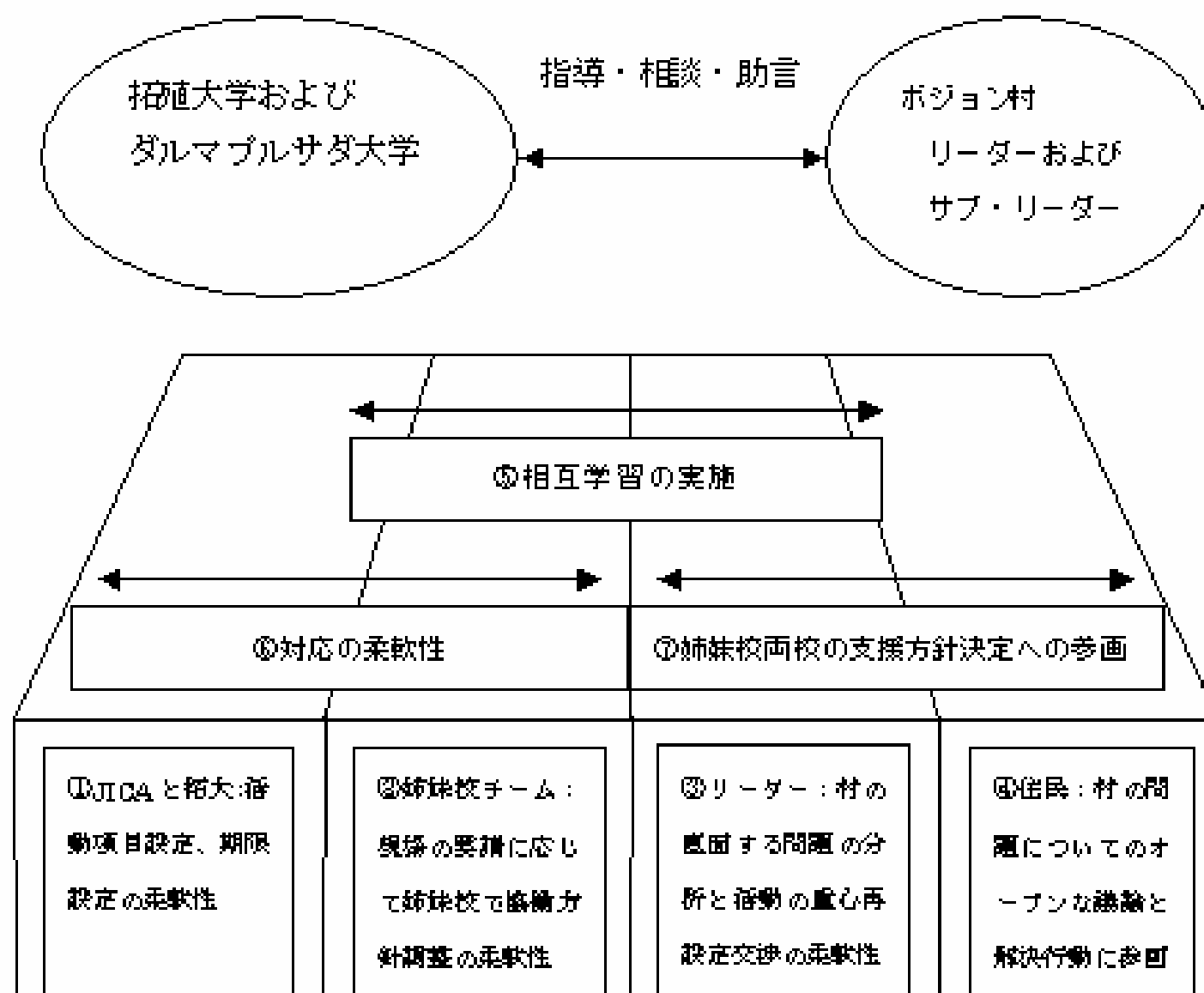
図一 拓殖大学アプローチ



図一 2 : リーダーの能力形成を中心においたモデルプロジェクトの進捗フロー図



図一3：姉妹校連携によるプロセス重視型協力の枠組み



体験と学習の統合を促がすモニタリング・シート(の採用)

- 社会開発に関する活動

理解できる、説明できる、実行できる

- 収入創出に関する活動

理解できる、説明できる、実行できる

- 管理能力育成に関する活動

理解できる、説明できる、実行できる

活動その①日本語指導(拓大生と社会人)
会場の村の中学校はイスラム校
マドラサと呼ばれモスクの2階に幼稚園から中学校まで併設



活動その②初歩のパソコン



活動その③識字指導



活動その④スポーツレクリエーションおよび 反薬物唱導活動



活動その⑤家具・デザイン改善
加工度を上げ付加価値をつける
（後に手工芸が加わる）
（さらにTシャツプリントが加わる）



活動その⑥家具販売管理改善
(後に起業家育成に指導内容を拡大
し資金管理、資材管理、販路管理も)



活動その⑦自治会強化を狙って
計画作り活動
評価活動

